

2020 年度 1 月 早慶上理・難関国公立大模試 地理 B 採点基準

**1 単答記述問題**

- ① 誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。
- ② 漢字で書くべき用語（例：扇状地）をひらがなで書いてある場合は 0 点。
- ③ 日本の地名（例：茨城県）については漢字で正確に書かれていなければ 0 点。
- ④ 中国・韓国の地名（例：ペキン（北京））については，漢字・カタカナのいずれかで正しく書かれていれば正解とする。
- ⑤ その他の地名や地理用語について，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスターンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては正解と認める。

**2 論述問題**

以下の設問別加点基準で加点（その他各問題の主旨に適した解答には，適宜加点。ただし，満点は越えない。）



以下の共通減点要素で減点

**共通減点要素**

- ① 加点要素に関わる誤字脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 字数オーバーは 0 点
- ③ 明らかに文章の構成が誤っている場合，論理が合わない場合などは 1 点減点。
- ④ 指定語句に下線をつける問題で，下線が引き忘れてある場合は 1 問につき 1 点減点。  
(指定語句は，解答中のどこかで使用していればよい。  
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，指定語句抜けの減点は不要。)

(\*減点しなくていい要素，その他の注意)

- ① 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
- ② 文章が未完のものは減点しない。
- ③ 以下の基準における加点項目は，内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

**3 採点記号**

1	<□□□□>	加点ポイント
2	□□□□x	事実誤認あり
3	□□□□?	文意不明
4	□□✓□□	誤字あり／脱字あり

**4 設問別加点要素**

- 1) \_\_\_\_\_ 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ加点しない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○/△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」と「 B 」→1 点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば 1 点加点する。

**1**

問1 各2点×8

- 1 : 内的営力    2 : 変動帯    3 : 海嶺/地溝/地溝帯    4 : 海溝/トラフ/褶曲山脈    5 : 石炭  
6 : アルプス=ヒマラヤ (アルプス・ヒマラヤ等でも可)    7 : 背斜 (「部」の重複→△1点)  
8 : 扇状地

問2 2点    サンアンドレアス断層/サン=アンドレアス断層 (「断層」の欠落→△1点)

問3 2点    エ

問4 各1点×2    C : ウ    D : ア

問5 1点 (完答)    イ, オ (3個以上の解答は×)

問6 2点    イ

**2**

問1(1) 位置 各1点×2    都市名 各2点×2

① : a, アンカレジ/アンカレッジ    ② : g, ナルヴィク/ナルビク

問1(2) 各1点×2    あ : 永久凍土 (「凍土」→×)    い : メタン/メタンガス

問1(3) 2点

暖房の熱により永久凍土が融けて、建物が傾くのを防ぐため。

**【加点ポイント】**

① (永久凍土が融ける要因) 暖房の熱/屋内の熱/建物の温度 →1点

② (①の結果) 建物が傾くのを防ぐ/家屋の倒壊を防ぐ/地盤沈下を防ぐ/不同沈下を防ぐ →1点

※「暖房の熱で永久凍土が融けると、家屋が傾くから」などでも2点

問1(4) 1点    サーミ/サーミ族/サーミ人

問1(5) 1点    オーロラ/極光

問2 2点    イ

問3 2点    ウ

問4 2点    ア

問5 2点    エ

問6 各1点×3    あ : 昭和基地    い : オゾンホール (「オゾン」→×)    う : フロン/フロンガス

問7 2点    エ



3

問1 各1点×2 経線 a : イ 緯線 b : イ

問2 各2点×3

河川 c : ニジェール川 湖 d : ヴィクトリア湖/ビクトリア湖 砂漠 e : ナミブ砂漠

問3 2点 ア

問4 2点 オ

問5 各2点×3 P : ピアフラ Q : ダルフール R : アパルトヘイト/人種隔離  
(「戦争」「紛争」「政策」の重複→△1点)

問6 2点 スワヒリ語

問7 各1点×5 ⑦ : い国/い ⑧ : あ国/あ ⑨ : か国/か  
X : フランス Y : イギリス

4

問1 各2点×3

A : 広域中心都市/地方中枢都市/地方中核都市/地方中心都市

B : プライメートシティ/プライメート=シティ/首位都市

C : 政令指定都市

問2 5点

外国からの資本が首都に集中的に投下されて産業が発達するため、就業機会を求めて多くの人が集まるから。

【加点ポイント】

① 外資が首都だけに集まる/資本が一都市に集中する

/首都以外の都市を発展させる経済力がない →2点

② (①の都市は) 産業が発達する/経済が発展する/企業が多く立地する/インフラ整備が進む →1点

③ (①の都市は) 就業機会が増える/働き口を求めて人が集まる/農村の余剰人口を吸収する →2点

問3 10点

Dは福岡県, Eは神奈川県である。卸売業の商圏は広いから、福岡市という広域中心都市を有する福岡県で値が大きい。一方、小売業の販売額は人口規模に比例するため、東京都に次いで人口が多い神奈川県で値が大きい。

【加点ポイント】

① Dは福岡県 →2点

★①の加点を②③の加点の前提とする

② (①の理由) 卸売業(卸売業販売額)の値が大きい

/小売業の値に比べ卸売業の値が約3倍である →1点

③ (②の要因) 福岡市が広域中心都市である/福岡県の卸売業の商圏は九州全体に及ぶ

/卸売業は商圏が広く地方全体に及ぶ

→2点

④ Eは神奈川県 →2点

★④の加点を⑤⑥の加点の前提とする

⑤ (④の理由) 小売業(小売業販売額)の値が大きい

/小売業と比べて卸売業の比率が大きくない →1点

⑥ (⑤の要因) 神奈川県は人口が多い/小売業販売額は人口規模に比例する

/神奈川県は東京都に近く卸売業はそれほど盛んではない →2点

問4 2点 ア

問5 2点 オ